



# 日本文化財科学会第43回大会 プログラム

## 口頭発表

7月25日(土) 口頭発表(口頭会場A・3115教室)

	番号	開始	終了	題目	発表者
開会式		9:00	9:15	会長挨拶、実行委員長挨拶、韓国招待者挨拶、事務連絡	
産地	座長：建石徹(文化庁)、菅頭明日香(青山学院大学)				
	A-1	9:28	9:46	朱の産地推定と流通からみた列島の国家形成史	○河野摩耶、畑山智史、南武志、今津節生
	A-2	9:46	10:04	江戸時代初期の有田磁器の組成と有田の泉山、龍門の陶石との組成比較	○田端正明、村上伸之
	A-3	10:04	10:22	携帯型EDXRF非破壊分析による埴輪の胎土分析	○金原正明、石田大輔、東藤隆浩、金原裕美子
	A-4	10:22	10:40	中央大学設置のポータブル型蛍光X線分析装置Bruker TRACER 5iを用いた隠岐産黒曜石製遺物の原産地推定分析システムの構築	○及川穰、佐藤駿輝、亀井淳志、小林謙一
		10:40	10:51	休憩(11分)	
産地	座長：國木田大(北海道大学大学院文学研究院)、金子悠人(石岡市教育委員会)				
	A-5	10:51	11:09	Sr・Nd同位体比分析による日本出土カリガラスの原料産地に関する研究	○田村朋美、申基澈
文化財科学一般	A-6	11:09	11:27	未解析文化財資料を有効活用した機械学習による自動解析システム	○福地翼、福永香、田村朋美
年代測定	A-7	11:27	11:45	部材年代と建築年代—犬山城天守	○中尾七重
	A-8	11:45	12:03	鳥浜貝塚における縄文時代前期の北白川下層式土器の暦年代—特に遺跡廃絶イベントとの関係について—	○工藤雄一郎、鯉本真友美、門叶冬樹
	A-9	12:03	12:21	瀬戸内海における縄文・弥生移行期の貝塚の年代測定	○遠部慎、畑山智史
		12:21	12:25	休憩(4分)	
企業セミナー	KA-1	12:25	13:15	企業セミナー「やきもので広がる活用の場」大塚オーミ陶業株式会社	
ポスター発表		13:15	14:05	ポスター発表コアタイム(発表番号奇数)	
材質・技法	座長：田村朋美(奈良文化財研究所)、青木智史(奈良教育大学)				
	A-10	14:05	14:23	沖ノ島出土金銅製矛鞘の科学分析	○山口繁生、初村武寛、岡寺未幾、福島真貴子
	A-11	14:23	14:41	布目圧痕を残す縄文晩期の特殊製品に関する製作技法分析	○根岸洋、小林青樹、鹿納晴尚、岩下智洋、前川優、三河内岳、野田尚志、江戸邦之
	A-12	14:41	14:59	中国・福建博物院所蔵の建窯窯址出土天目破片の非破壊オンサイト蛍光X線分析	○村串まどか、阿部善也、鄭銀珍、小林仁、羊澤林、櫻建龍、余慧君、陳志濤
		14:59	15:10	休憩(11分)	
材質・技法	座長：降幡順子(京都国立博物館)、犬塚将英(東京文化財研究所)				
	A-13	15:10	15:28	アアリ西古墳群N2号墳出土二枚貝容器内白色物質の科学分析	○紀芝蓮、寺島海、笠原朋与、片瀨奈美香、手島菜摘、西田典由、安倍雅史
	A-14	15:28	15:46	正倉院宝物の暈縹彩色に用いられた色料の総合的研究	○鶴真美
		15:46	16:04	木島櫻谷遺品画材における褐色岩絵具の化学構造	○高林弘実、紀芝蓮、緒方規矩也、橘洋一、廣岡青央
		18:00	20:00	懇親会(中央大学多摩キャンパス 生協食堂2階)	

# 7月25日(土) 口頭発表(口頭会場B・3114教室)

	番号	開始	終了	題目	発表者
文化財科学 一般	座長：植月学(帝京大学)、工藤雄一郎(学習院大学)				
	B-1	9:28	9:46	土器付着物からみた川西シブノツナイ遺跡のC <sub>4</sub> 植物利用	○國木田大、林勇介、米田穰
	B-2	9:46	10:04	北海道南部上ノ国町域における9千年間の土器調理変遷	○福井淳一、村本周三、堀内晶子、宮内信雄、小澤仁嗣、國木田大、宮田佳樹
	B-3	10:04	10:22	土器残存脂質分析の方法と実践—総合土器科学分析学構築に向けて—	○宮田佳樹、宮内信雄、小澤仁嗣、堀内晶子、関野禎
	B-4	10:22	10:40	平安時代の北関東の蒸し調理における羽釜の使い方とその選択理由	○小林正史、小野本敦、有山径世、村上由美子、川畑誠、館内魁生、外山政子
		10:40	10:51	休憩(11分)	
保存科学	座長：片岡太郎(弘前大学)、柳田明進(奈良文化財研究所)				
	B-5	10:51	11:09	木製遺物の保存処理における脱水工程を要しない非水溶性薬剤含浸法の検討(3)—液中浸漬の可能性—	○松田和貴、脇谷草一郎
	B-6	11:09	11:27	出土木質遺物の保存処理工程における付着顔料の剥落防止を目的としたメントール処置の基礎的検討	○中尾真梨子、河崎衣美、奥山誠義、小倉頌子
	B-7	11:27	11:45	装飾古墳の彩色部における難溶性塩析出の実験的再現	○大迫美月、脇谷草一郎
	B-8	11:45	12:03	清戸迫83号横穴墓における壁画調査	○朽津信明、西田典由、片渕奈美香、手島菜摘、紀芝蓮、寺島海、芳賀文絵、千葉毅、石塚麻奈、横山裕紀
	B-9	12:03	12:21	ナスカ地上絵の保護工法と覆土材料に関する研究と実践	○高橋拓、松井敏也
		12:21	12:25	休憩(4分)	
企業セミナー	KA-1	12:25	13:15	企業セミナー(口頭会場A)	
ポスター発表		13:15	14:05	ポスター発表コアタイム(発表番号奇数)	
保存科学	座長：上條信彦(弘前大学)、松井敏也(筑波大学)				
	B-10	14:05	14:23	海揚がり品由来の還元型硫黄化合物による金属試験片の腐食挙動に基づく展示環境評価法の検討	○柳田明進、脇谷草一郎、木川りか、佐藤嘉則、島田潤、和泉田絢子、渡辺祐基、奥島希子、小泉恵英、安木由美
	B-11	14:23	14:41	文化財保存修復時における人工物質の混入要因と新規試料保存法の開発	○中田晴彦、長崎由樹、大坪志子、山野ケン陽次郎、山口健剛
		14:41	15:10	休憩(29分)	
保存科学	座長：秋山純子(東京文化財研究所)、中尾真梨子(奈良県立橿原考古学研究所)				
	B-12	15:10	15:28	室内用薄型空気清浄機とケミカル除去シートを用いた木質収蔵庫内空気質の改善の試み	○森谷朱、嵯城花佳、高野柁人、瀧川ちかこ、松井敏也
	B-13	15:28	15:46	地域史料の保管に使用される段ボール箱の性質とその影響	○中野実歩、松井敏也
	B-14	15:46	16:04	木造文化財建造物における高湿化抑制のための環境制御手法に関する研究—室内各部のカビ発生リスク低減に向けた床下・室内の熱湿気連成挙動および床下送風効果の検討—	○小椋大輔、YIN YIXI、高取伸光、岡村知明、松本愛理、松本直子

## 7月26日(日) 日韓共同セッション(口頭会場A・3115教室)

	番号	開始	終了	題目	発表者
司 会：高妻洋成(文化財防災センター)					
開会挨拶		9:00	9:10	開会挨拶、主旨説明	
特別セッション 日本発表	S-1	9:10	9:40	酸素同位体比年輪年代法による韓国三国時代の出土木材の年代決定	○箱崎真隆、佐野雅規、坂本稔、木村勝彦、李貞、中塚武
	S-2	9:40	10:10	日本産樹木の単年輪放射性炭素年代測定	○坂本稔
	S-3	10:10	10:40	土器付着炭化植物遺体分析とその用途	○佐々木由香
		10:40	10:50	休憩(10分)	
特別セッション 韓国発表	S-4	10:50	11:20	Tracing Human-Nature Interactions through Biomolecular and Organic Residue Analysis in Korea	○Jia YU, Jisun CHOI, Song I HAN
	S-5	11:20	11:50	韓国文化遺産の放射性炭素年代測定システムの構築と研究事例	○Sujin PARK, Minji KONG, Youngeun KIM, Sungyoon JANG
	S-6	11:50	12:20	Overview of tree-ring dating using tree-ring width and oxygen isotope chronologies in Korea	○Jeong-Wook SEO, En-Bi CHOI, Masaki SANO, Takeshi Nakatsuka
閉会挨拶		12:20	12:30	閉会挨拶、総括	

## 7月26日(日) 口頭発表(口頭会場A・3115教室)

	番号	開始	終了	題目	発表者
ポスター発表		12:35	13:25	ポスター発表コアタイム(発表番号偶数)	
総 会		13:25	14:20	総会	
古環境	座 長：及川穰(中央大学)、新免靖歳(東京学芸大学)				
	A-16	14:24	14:42	帯磁率にもとづく遺跡形成過程の復原：湯ヶ峰黒曜岩原産地「湯の平」における事例研究	○見市環
探 査	A-17	14:42	15:00	表面波探査法と地中レーダー探査の活用による城郭縄張の検討～豊臣秀吉最後の城 京都新城跡を対象に～	○古川匠、土井一生、桐井理揮、竹村亮仁、菅博絵、面将道、岸田徹、津村宏臣、西村春陽
		15:00	15:10	休憩(10分)	
文化財防災	A-18	15:10	15:28	水損紙資料を対象とした湿熱処理による殺菌効果の評価—カビ孢子および被災模擬冊子体による検証—	○仁木真奈美、小野寺裕子、島田正理、近藤修平、藤原裕子、藤井義久、佐藤嘉則
文化財科学 一般	A-19	15:28	15:46	古墳壁画への適用を見据えた顕微ラマン分光分析による青色顔料判別条件の最適化	○大迫美月、脇谷草一郎、犬塚将英、田村朋美、柳田明進、溝道桂介、廣瀬潤、青木靖仁、安藤真理子、米村祥央
	A-20	15:46	16:04	情報論的オブジェクト分析～紙の分析を例として～	○坂本昭二
閉会式		16:04	16:19	会長挨拶、実行委員長挨拶、次期大会会場の案内	

## 7月26日(日) 口頭発表(口頭会場B・3114教室)

	番号	開始	終了	題目	発表者
ポスター発表		12:35	13:25	ポスター発表コアタイム(発表番号偶数)	
総会		13:25	14:20	総会(口頭会場A)	
保存科学	座長: 西本志保子(中央大学)、小林啓(九州歴史資料館)				
	B-15	14:24	14:42	トレハロース法によるエルトゥールル号滑車の保存処理	○比佐陽一郎、張亜莉、 トゥランリ・トゥファン、今津節生
	B-16	14:42	15:00	漆製品におけるPEG含浸液からのDNA検出の試み	楊曼寧、倉島玲央、甲斐由理子、 ○押鐘浩之
		15:00	15:10	休憩(10分)	
保存科学	B-17	15:10	15:28	圧痕レプリカ採取後の土器表面に残留する離型剤の除去法—HPCゲルシートによる新たな洗浄手法の提案—	○秋山花子、千葉毅
	B-18	15:28	15:46	自然史系博物館における資料保存体制の構築に向けた実践と課題	○藤田浩明、佐久間大輔

# ポ ス タ ー 発 表

発表分野	番号	発表題目	発表者
古環境	P-001	オニアサリの成長線分析による古環境復のため予備的研究	○畑山智史
	P-002	野生イネの生産量推定に関する基礎的研究 (V)	○宇田津徹朗、一谷勝之、坂本龍弥、小城太紀、志水勝好、石川隆二
	P-003	水田遺構土壌を中核試料とした悉皆型の稲作史研究手法の構築に向けた学際的研究 (IV)	○宇田津徹朗、田中克典、上條信彦
	P-004	水田遺構土壌を中核試料とした悉皆型の稲作史研究手法の構築に向けた学際的研究 (V)	○田中克典、宇田津徹朗、田崎博之、井上智博、上條信彦
	P-005	ストロンチウム同位体比分析による中世牧馬の来歴推定と飼育形態の検討	○植月学、金井拓人、矢野萌生、町田嗣樹
	P-006	韓国と日本における土壌媒介性蠕虫および吸虫の感染パターン比較	○Jong Ha HONG、○藤田尚、In Uk Kang、Dong Hoon Shin
材質・技法	P-007	考古寄生虫卵キャッチにおける浮遊法についての考察	○藤田尚、Jong Ha HONG、In Uk Kang
	P-008	縄文時代の縄の対照資料としての現生植物製の縄の観察	○能城修一、佐々木由香、小林和貴、國井秀紀、菅野紀子
	P-009	北海道美幌町元町2遺跡の焼失住居址で発見された炭化材の樹種同定	○守屋豊人、千葉悠斗、八重柏誠、佐野雄三
	P-010	伝東大寺法華堂金剛力士像乾漆片の研究	○中沢隆、岡田文男、河原一樹、佐藤有希子、宮路淳子
	P-011	薬師前遺跡3号土器棺より出土した赤色物質の観察と自然科学分析	○永瀬史人、竹原弘展、中村賢太郎、小林和貴、國木田大、米田稜、佐宗亜衣子、菅頭明日香、村本恵一郎、市川健夫
	P-012	絹本著色東照大権現像(鳳来山東照宮所蔵)に用いられた緑色顔料について	○降幡順子、岡岩太郎、黒田敦紀
	P-013	高松松平家所蔵博物図譜に用いられた彩色材料に関する科学調査—紫色の材料と技法に着目して—	○寺島海、秋山純子、紀芝蓮、西田典由、犬塚将英、高木敬子
	P-014	文化財修理黎明期に用いられた石膏木屎のX線CT解析	○加藤沙弥、鳥越俊行
	P-015	国宝唐招提寺金堂附指定部材・身舎支輪裏板及び身舎天井裏板に使用された彩色材料に関する調査	○池田藍子、青木智史、鶴真美、大山明彦
	P-016	大宰府政庁前面官衙跡出土金属器の材質に関する科学的調査	○加藤和歳
	P-017	古文書料紙の多角的成分分析：『古今紙漉紙屋図絵』と『歴代古紙聚芳』を対象に	○渋谷綾子、高島晶彦、山口悟史、石田正紀、武智英明、丹羽尉博、平澤加奈子、広田克也、黒嶋敏、木村正雄
	P-018	文化財修復材料としてのナノセルロースの検討—材料選択時の分析項目—	○嵩山明音、齋藤継之、Moores Audrey、加藤雅人、藤澤秀次
	P-019	中世期における北海道・北東北のガラス玉の様相	○高橋美鈴、田村朋美、大賀克彦
	P-020	国宝「初音の調度」のうち鏡台、昆布箱、帯箱(胡蝶蒔絵)の木地構造および制作技法のX線CT調査	○渡辺祐基、川畑憲子、板谷寿美、吉川美穂、太郎良真妃、木川りか
	P-021	江戸幕府にゆかりのある近世前期の寺社建造物における赤色顔料の使用と調達	○松尾野々花、大西功紗、北野信彦
	P-022	初代から五代の後藤四郎兵衛家が製作した目貫の深さ方向分析と江戸期小判との関連性	○齋藤努、湯川敦也、二宮和彦
	P-023	江戸時代後期に制作された大絵馬における鉛白の使用例	○押田詩織、魚島純一
	P-024	歴史的コンクリート構造物片の材質分析	○下岡順直、岩崎望、高井康宏
	P-025	奄美大島の玉ハベラに用いられたガラス玉の調査	○比佐陽一郎、渡聡子
	P-026	マルチスペクトルカメラを用いた蛍石を白濁剤とするガラスの基礎的研究	○村串まどか、細井雄貴、渡邊友亮
P-027	韓国金海大成洞14号出土革製鞆の製作技法的特徴分析	林志暎、李宣周、○岡田文男	

発表分野	番号	発表題目	発表者
材質・技法	P-028	中国古代墓磚の生産技術と製作工程—湖北省西北部地域の墓磚資料を中心に—	○朱独伊、黒澤正紀、谷口陽子、楊一、付関華
	P-029	蛍光X線分析による天理参考館所蔵チベット仏画タンカの彩色材料研究	○青木智史、中尾徳仁、池田藍子
	P-030	エジプト・北サッカラ遺跡出土テラコッタ製像の非破壊オンサイト材質分析	○阿部善也、村串まどか、岡部陸、河合望
	P-031	ウズベキスタン共和国出土壁画の調査—クルドル・テバ遺跡Tr.8前期寺院壁画—	○村上智見、成瀬正和、鶴真美、上野愛菜花、ベグマトフ・アリシエル、レウトヴァ・マリナ、サンディボエフ・アリシエル、アリモフ・ナウルズ、ベルディムロドフ・アムリディン
	P-032	異なる遺跡から出土したスタンプ文が施されている漆器に対する科学分析	○田中龍太、清水香、本多貴之
	P-033	現パキスタン北西部・ガンダーラ仏教寺院出土石灰製品の材料分析：京都大学人文科学研究所所蔵資料を対象として	○山根萌々花、黒澤正紀、谷口陽子、向井佑介
	P-034	ウズベキスタン・ザールテバ遺跡出土壁画の彩色材料の調査①	○柳成煜、影山悦子、成瀬正和、田村朋美、レウトヴァ・マリーナ
	P-035	アルハンゲロス・ミハイロ聖堂の壁画保存修復に向けた事前調査	○前川佳文、マリア・レティツィア・アマドーリ、ダニエラ・マリア・マーフィー、シモーナ・カレッチャ、ハティジェ・テムル、トルガ・ウヤル、菅原裕文
産地	P-036	縄文時代の本州島における北海道産黒曜岩製石器の新例：蛍光X線分析によるハイブリッド原産地推定	○上峯篤史、竹原弘展
	P-037	高知県南国市から出土した縄文土器の産地について	○矢作健二、坂元秀平、山川真樹、松元美由紀
	P-038	矢作川流域における古井式土器の流入—化学組成を用いた搬入土器の抽出—	○安達友隆、上峯篤史
	P-039	胎土分析から見た群馬県赤城山麓の縄文時代前期末葉土器の動き—群馬県前橋市上大屋・樋越地区遺跡群出土の諸磯c式土器の分析	○松田光太郎
	P-040	神奈川県における縄文時代後・晩期の黒曜石利用の地域相	○中川孝平、菅頭明日香
	P-041	判別図法による九州地方黒曜石の産地推定(2)	○竹原弘展、上峯篤史
	P-042	携帯型EDXRF非破壊分析による胎土分析	○金原正明、岡田憲一、金原裕美子
	P-043	地球温暖化による劇的環境変動に適した石造文化遺産の調査・保存法の総合的研究(7)—竹田城花屋敷曲輪での帯磁率測定—	○若杉勇輝、塚本敏夫、植田直見、雨森久見、山口繁生、坂本俊、田邊征夫、三村衛、朽津信明、金田明大、大川拓也
	P-044	長安万科城唐墓より出土した唐三彩の自然科学的研究	○小倉頌子、李彦峰、李建西、宋俊榮、陳佳妮
	P-045	蛍光X線分析によるハルベトスワン・テベシ遺跡出土黒曜石製石器の産地推定	○森脇涼太、佐竹渉、キュチュックアルスラン・ヌルジャン、下釜和也、ウルダー・ジェラル、西秋良宏
探査	P-046	地中物理探査と発掘調査の往還による遺跡調査方法論深化に向けて—黒住山1号墳の地中レーダー探査を事例として—	○山口欧志、岸田徹
	P-047	富士山宝永噴火で埋没した須走村の悉皆的地中レーダー探査	○杉山浩平、亀井宏行
年代測定	P-048	年輪幅・酸素同位体比データセットによる奈文研年輪年代データの検証	○佐野雅規、箱崎真隆、坂本稔、門叶冬樹
	P-049	北海道縄紋草創期の土器付着物の年代測定	○小林謙一、米田穰、尾寄大真、大森貴之、森久大、坂本稔、相原淳一、横山英介、萩野幸男
	P-050	日韓新石器時代の土器付着物の炭素14年代測定による編年対比	○小林謙一、廣瀬雄一、金恩瑩、米田穰、尾寄大真、大森貴之
	P-051	福島県桜川遺跡出土の大木2a・2b式土器の型式学的編年とその年代について	○野村萌々花、工藤雄一郎、門叶冬樹
	P-052	千葉県多古町境貝塚の貝輪の年代測定	○遠部慎、畑山智史、及川穰、小林謙一

発表分野	番号	発表題目	発表者
年代測定	P-053	東京都港区我善坊谷遺跡の出土木材の年代測定および産地推定	○林析、坂本稔、箱崎真隆、佐野雅規、能城修一
	P-054	毛皮獣養殖所跡の近代煉瓦構造物における熱ルミネッセンス年代測定	○下岡順直、今野公顕、北條勝貴、平井勇介、工藤健
文化財科学一般	P-055	残存デンブン粒と使用痕観察からみた燃糸文期の礫石器利用	○上條信彦
	P-056	縄紋中期土器における植物種子発芽事例—レプリカ法とX線CT撮影による分析—	○西本志保子、金子悠人、佐々木由香、宮田将寛、小林謙一
	P-057	縄文時代後期前葉十腰内I式期の食性分析(3)—下北半島の事例を中心に—	○國木田大、阿部昭典、長谷川大旗、折登亮子、中村耕作、米田穰
	P-058	縄文に対する深層学習を用いた特徴抽出の試み	○鴨下真由、牧野浩典、葛巻徹
	P-059	残留有機物分析による製塩土器と非製塩土器の比較：青森県今津遺跡出土土器を中心に	○堀内晶子、上條信彦、岩崎郁実、宮内信雄、小澤仁嗣、宮田佳樹
	P-060	三次元データを用いた海浜部遺跡群の景観復元—三浦半島南端の弥生遺跡をモデルに—	○佐藤兼理、杉山浩平、高橋健、釘持輝久
	P-061	神奈川県雨崎洞穴出土土器の残存有機物分析(2)	○風間智裕、釘持輝久、畑山智史、福井淳一、宮内信雄、小澤仁嗣、堀内晶子、宮田佳樹
	P-062	弥生・古墳時代の掘立柱建物の屋根勾配の角度に関する研究	○谷直子
	P-063	リモートセンシング時系列データを用いた前方後円墳に隣接する水田の水稲生育状況の評価	○本郷千春、光本順、ライアン・ジョセフ、山口雄治、久世宏明、清家章
	P-064	糞石はヒトか動物か？糞石の起源生物を考える	○白石哲也、浪形早季子、萩野はな、福井淳一、西田泰民、森将志、宮田佳樹
	P-065	深層学習を用いた遺跡出土砥石の粒度推定方法の開発	益戸幸哉、○飯田佑輔、森貴教
	P-066	熊本県上天草市の長砂連古墳・大戸鼻古墳群北古墳及び南古墳の保存施設修繕について	○西田京平、坂口圭太郎、高妻洋成
	P-067	ハイパースペクトルイメージングを用いた彩色壁画の画像解析—清戸迫83号横穴墓を事例に—	○片淵奈美香、手島菜摘、西田典由、紀芝蓮、寺島海、朽津信明、横山裕紀
	P-068	消しカスから骨角器素材を同定する：福山城下町遺跡出土円盤状骨製品を対象とした事例研究	○江田真毅、泉洋江、福井淳一
	P-069	江戸後期および明治前期に製作された須弥山儀図の科学分析	○藤原学、樋口玲央
	P-070	菊紋・一の銘がある太刀について	○藤田尚
	P-071	中世出土漆碗・皿の文様技法と年代の検証	○清水香、米田穰、尾崎大真、大森貴之、本多貴之、田中龍太
	P-072	大津祭西行桜狸山の囃子鉦の調査	○橋本沙知、日高真吾、奥村泰之、河村友佳子、和高智美
	P-073	太平洋戦争下における喜界町中里戦闘指揮所跡のコンクリートの材料特性と現状に関する研究	○深見利佐子、松井敏也
	P-074	フィルター交換式カメラを用いた格天井板絵の通常・赤外線撮影	○魚島純一、碓井颯季
	P-075	土器・土壌DNA分析の発展が文化財観に与える影響と倫理的課題	○押鐘浩之、楊曼寧、柄尾尚哉、甲斐由理子、高柳妙子、末森薫、宇高健太郎、田鶴寿弥子、今井友也
	P-076	多層構造を有する試料の層別有機材料分析へ向けた検討	○壺内幹太、本多貴之
	P-077	LiDARセンサ搭載モバイル端末を用いた大型木製彫刻物の三次元形状計測とその応用	○小川圭二、鈴木翔太、岡田至弘
	P-078	SEM/MVSによる内部構造の三次元計測における精度評価	○荒木徳人
	P-079	ハイパースペクトルデータベースの構築とXRFを併用した材料調査	○加藤圭介、川上智紀、福永香、山口大裕、青山浩之
	P-080	古代遺物画像からの体積推定の試み	○飯田椋太郎、福永香、田村朋美
	P-081	テラヘルツ光で探る土器の光学特性—吸収スペクトルと屈折率—	○鎌田紘彰、南康夫、碓智文、道山哲幸、野邑寿仁亜、関澤俊弦、四方潤一、瀧川道生、小林一彦、武井紀子、山本孝文、浜田晋介、石澤淳

発表分野	番号	発表題目	発表者
文化財科学 一般	P-082	近赤外光およびテラヘルツ光イメージングによる油彩画の非接触分析と画像特性の比較	○加藤花菜、福永香、碓智文
	P-083	ガルウイング観察に基づく石器製作の復原とその課題	○村井咲月
	P-084	奈良地方に伝えられた民俗資料の継承にむけた調査活動について	大山紗輝、○杉山智昭、高橋史弥、石橋 諒、大熊久貴
	P-085	カラフトブタ飼養の消長と飼養実態に関する調査：成果と今後の課題	○上奈穂美、糸井梨香子、寺井洋平、五條堀淳、甲能純子、山崎京美、高橋健、坂本稔
	P-086	古代海藻利用検出に向けた海藻脂質の保存性評価	○小澤仁嗣、宮内信雄、堀内晶子、畑山智史、岩崎郁実、上條信彦、関野禎、宮田佳樹
	P-087	非破壊検査技術の活用による模型製作と博物館展示への展開	○大江克己、小林美紀、永石理恵、竹内隼人、笹木一義
	P-088	X線CTによる偏差解析を活用した博物館資料の状態診断	○大江克己、竹内隼人、八幡巴絵
	P-089	糸目模様に見られる chain line shadows と narrow intervals 現象の生成メカニズムについて	○坂本昭二
	P-090	京都盆地北西部、断層帯と沖積低地における14世紀の地震活動履歴	○中塚良
	P-091	韓国における世界文化遺産の宗廟周辺の都市再開発をめぐる諸問題に関する考察	○李素妍
	P-092	ベトナム・バックカン州の岩山で出土した衣服および布類の調査分析	○小原奈津子、伊藤美香、下村久美子、古田真一、Nguyen Viet
	P-093	インド仏教石窟空間の三次元デジタルドキュメンテーション—Kanheri 石窟のフォトグラメトリから三次元モデルの公開まで—	○山口欧志、島田明
P-094	エアロゲルを用いた文化財の全周3D計測手法の検討—楔形文字粘土板を対象として—	○高橋あかり、横山操、河本晴雄、森若葉、山本孟、上野貴史、上岡良太、金森生祥	
文化財防災	P-095	空調のない廃校における被災文化財一時保管の環境リスク評価と意思決定支援ツールの開発	○上相英之、小峰幸夫
	P-096	乾性油を用いた塗膜の加熱による変化について(2)	○由井和子、秋山純子、犬塚将英、小谷竜介、高妻洋成
	P-097	被災文化財保管後の収蔵庫環境変化に関する調査—けいはんなオープンイノベーションセンター(KICK) 収蔵庫における事例—	○中屋菜緒、中島志保、上相英之、小峰幸夫、小谷竜介、高妻洋成
保存科学	P-098	シリケート系石材強化剤の組成および硬化温度が耐凍害性に及ぼす影響の検討	○森彬、宮本沙知、長谷川稔、松井敏也
	P-099	大分市・岩屋寺石仏の劣化に関する調査	○朽津信明、鈴木琴那
	P-100	トレハロースによる海底出土金属腐食生成物の防錆効果	○張亜莉、比佐陽一郎、今津節生
	P-101	伊勢堂岱環状列石群における着生物の分光反射特性	○齋藤花奈、松井敏也、河崎衣美、片岡太郎
	P-102	旧甲子園ホテルの凝灰岩外装材の乾湿劣化リスクの定量化に関する研究	○福井一真、伊庭千恵美、宇野朋子
	P-103	不均一性の高い材料の水分拡散係数の決定のための画像の数値化処理を導入した Ruler 法の構築	○田村咲綺、石川和輝、福井一真
	P-104	法隆寺金堂飛天壁画の模擬試験体の乾燥時における応答および膠を含む白土の水分子性	○池田尋、石川和輝、小椋大輔、伊庭千恵美、脇谷草一郎、水谷悦子、和田浩
	P-105	襖の重なりにより形成される微環境と襖紙の経年劣化の関係に関する研究	○高取伸光、小椋大輔、柴爽香、高林弘実、貴田啓子、脇谷草一郎、岡村知明、松本愛理、松本直子
	P-106	金属有機構造体(MOF)を用いた文化財保存用調湿剤の開発	○加藤広樹、大西祥晴、鈴木英司、道幸昌史、伊藤剛、高梨真行、建石徹、島谷弘幸
	P-107	湿度制御温風処理によるカビ孢子殺菌効果の実験的評価	○佐藤嘉則、小野寺裕子、仁木真奈美、島田正理、近藤修平、藤原裕子、藤井義久
	P-108	近代日本の劣化した焼成煉瓦における微生物叢の変化：東京湾要塞跡における調査	○河崎衣美、片山葉子、松井敏也、川本真由美
	P-109	高温湿潤条件下における保存箱の温湿度環境変化の緩和効果の評価	○関根遥、水谷悦子、秋山純子

発表分野	番号	発表題目	発表者
保存科学	P-110	金属製考古資料の劣化状態に基づく分類に向けた統計的特徴選択を用いた色空間統合モデルの検討	○山田圭吾、福永香、柳田明進、脇谷草一郎
	P-111	ニューハクシミにおける栄養制限下の生存特性	○島田潤、轟丈瑠、山田紀代美、佐藤嘉則
	P-112	ラダック・エンサ寺仏塔壁画の保存と信仰空間再生に向けた取り組み	○末森薫、正垣雅子、寺井淳一、アビール・グプタ、ヌーリ・ジョハン、スリル・パテル、ファイザ・カーン、クエンティン・ディヴァース、エドアルド・バオロ・フェラーリ
	P-113	高輪築堤の保存環境モニタリングに関する土槽実験での適用性確認	○小林恵、山口尚宏、國居裕介、高妻洋成、池本宏文、池田陽祐
	P-114	二条城二の丸御殿白書院天井画における彩色層の劣化要因—非破壊分析に基づく初期評価—	○紀芝蓮、高林弘実、張宏利、岡村知明、松本愛理、松本直子、貴田啓子、小椋大輔、高取伸光、脇谷草一郎
	P-115	奈良県藤ノ木古墳出土品の再修理5年次の取り組み—大刀と馬具の再修理とその材質について—	○奥山誠義、小倉頌子、河崎衣美、中尾真梨子、水野敏典、青柳泰介、重見泰、鈴木朋美、木村理恵、吉村和昭、平井洗史、横須賀倫達
	P-116	乾燥・湿潤過程に生じるひずみを用いた多孔質弾性係数推定方法の構築	○石川和輝、福井一真
	P-117	出土漆膜の寸法安定性に及ぼす保存処理条件の影響—X線CT画像解析による薬剤・工程条件別の変形量比較—	○楊曼寧、田村朋美、松田和貴、脇谷草一郎、本多貴之
	P-118	細孔構造の異なるセメント系模擬岩石における湿潤および熱膨張挙動の比較	○莊旺璋、脇谷草一郎、麓隆行、高取伸光、小椋大輔
	P-119	法隆寺金堂収蔵庫における壁画の保存と公開に関する研究—数値解析を用いた除湿システム導入時の自然室温下での相対湿度制御の検討—	○小椋大輔、近藤花野美、黒瀬修一、伊庭千恵美、高取伸光
	P-120	鷹島海底遺跡出土遺物を安全に展示・保管するための環境づくりに関する検討	○安木由美、松井敏也、山崎正彦
	P-121	文化財用ガス燻蒸施設の二酸化炭素処置施設への転換	○鳥越俊行、小峰幸夫、加藤沙弥
	P-122	組積造建築を対象とした片側開放型H-NMRの現地試行と非破壊水分・物性評価にむけた初期的検討	○水谷悦子、小椋大輔、脇谷草一郎、吉田英一
	P-123	還元型硫黄ガスを発生する遺物の保管における活性炭系吸着剤の有効性評価	○和泉田絢子、島田潤、渡辺祐基、奥島希子、木川りか、佐藤嘉則、柳田明進、脇谷草一郎
	P-124	法隆寺五重塔塑像の保存環境実態調査 その3) 年変動計測結果	○Wu Fan、小椋大輔、安福勝、岡田健、脇谷草一郎、岡田靖
	P-125	明治後半期の浮世絵に用いられた色材の調査研究	○只野夏海、比佐陽一郎
P-126	塩害と脱塩によるレンガの強度変化に関する実験的研究	○安福勝、柴田隼士、麓隆行、宇野朋子、伊庭千恵美	
発表分野	番号	発表題目	発表者
文化財防災	PK-001	気候変動に伴う高温多湿環境の長期化と韓国における金属文化財の予防保存対応の現状	○Euna Kim, Gyuhoo Kim
材質・技法	PK-002	韓国新石器時代の高山里式土器の内部構造と植物混入の特徴	○張誠允、康山河
	PK-003	韓国扶安柳川里出土青磁胎土の特性と精製工程	○張誠允、梁秀賢、朴世麟
年代測定	PK-004	Species Identification and Dendrochronological Analysis of Wooden Members from Daeseongjeon Hall of Jangsu Hyanggyo, Korea	○Hae-Ree Park, Jung-Hae Park, Soo-Chul Kim
材質・技法	PK-005	Analysis of Manufacturing Techniques and Lacquer Layer Structure of a 17th-Century Joseon Wooden Buddha Triad—Wooden Seated Sakyamuni Buddha Triad of Munsusa Temple, Gochang (National Heritage of Korea)	○Ju-Eun BAEK, Soo-Chul KIM
保存科学	PK-006	三次元画像解析に基づく考古学的鉄製遺物の腐食層密度推定および等価金属損失評価	○JAEYEON KIM, JONG YUL KIM, TAEJOO KIM, HOBYUNG CHAE, WAN CHUCK WOO, SEOEUN JANG, YOUNG RANG UHM, NAMCHUL CHO